

○「集荷体制や新プラン作成を検討」

(京都府宮津市 日ヶ谷地区連絡会議)(平成30年度第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

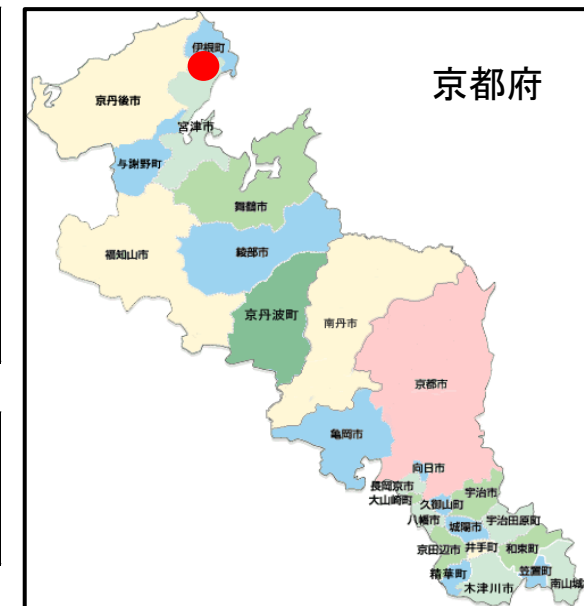
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月26日(木) 14:00～17:00
- 場 所: 宮津市日ヶ谷集会所
- 出席者: 石田委員、荻野推進委員
協力員4人、事務局2人
※委員2人、委員以外6人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 若者が農業に興味をもっておらず、協力が得られない。高齢化に伴い、共同作業の負担が大きくなっている
- 水路整備は、耕作者以外の支援を受けている
- 栽培は、自家用・縁故米、加工味噌材料、チソ栽培(1人)、ハウス採種(1人)



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農地利用状況調査は8月4日の午後(委員、推進委員、協力員全員で全地区を調査)とする
- 地区連絡会議での検討事項として
 - ・集荷体制の検討
 - ・近隣(養老地区)を含めた、新たな京力農場プランを検討
- 意見交換(農業懇談会)
 - ・地域の後継者がいない
 - ・サルはメッシュ柵だけでは対応できない
 - ・集荷されれば営農は可能では
 - ・耕作者の減少にどう対応するか
 - ・近隣の地区への協力要請は
 - ・中山間事業終了後が心配

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 3 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |